

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-283291

(43) 公開日 平成4年(1992)10月8日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
C 0 9 K 19/42		6742-4H		
G 0 2 F 1/13	5 0 0			
	1/133	5 0 0	8806-2K	
G 0 9 F 9/35	3 0 3	7926-5G		

審査請求 未請求 請求項の数13(全 32 頁)

(21) 出願番号 特願平3-290378

(22) 出願日 平成3年(1991)10月11日

(31) 優先権主張番号 P 4 0 3 2 5 7 9 . 2

(32) 優先日 1990年10月13日

(33) 優先権主張国 ドイツ (D E)

(71) 出願人 591032596

メルク パテント ゲゼルシャフト ミツ

ト ベシユレンクテル ハフトング

MERCK PATENT GESELL

SCHAFT MIT BESCHRAN

KTER HAFTUNG

ドイツ連邦共和国 デー-6100 ダルムシ

ユタット フランクフルター シュトラー

セ 250

(74) 代理人 弁理士 若林 忠

最終頁に続く

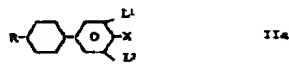
(54) 【発明の名称】 スーパーツイスト液晶ディスプレイ

(57) 【要約】 (修正有)

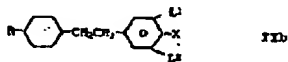
【目的】 優れた性質のスーパーツイスト液晶ディスプレイを提供する。

【構成】 式 IIa 又は IIb

【化1】



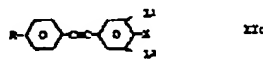
IIa



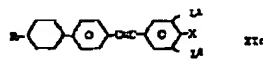
IIb

の1つ以上の化合物と、式 IIc ないし Iie

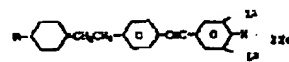
【化2】



IIc



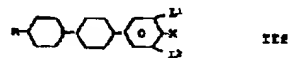
IIe



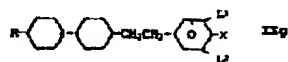
Iie

の1つ以上の化合物と、及び式 IIIf ないし IIIk

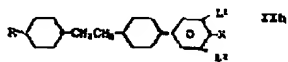
【化3】



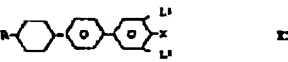
IIIe



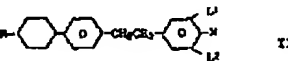
IIIg



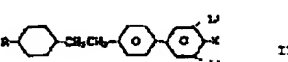
IIIh



IIIi



IIIj



IIIk

の1つ以上の化合物とを含む成分Aをネマチック液晶混合物の基礎とする。

(2)

特開平4-283291

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記の構成、すなわち

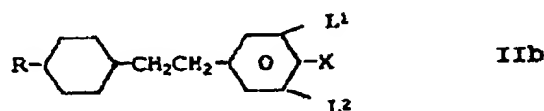
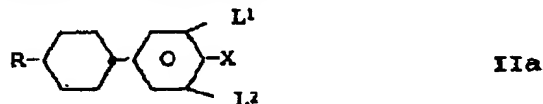
- 枠とともにセルを構成する、2枚の面平行な外側プレート、
- このセル内に存在する、正の誘電異方性を有するネマチック液晶混合物、
- 外側プレート内側の、配向層の重ね合わされた各電極層、
- 各外側プレートとこれら外側プレートの表面のとこ\*

\*ろの分子の長手軸との間の、約1度ないし30度のピッチ角、及び

- セル内の液晶混合物の配向層から配向層への、100度と600度との間の値をもつツイスト角を有するスーパーツイスト液晶ディスプレイにおいて、そのネマチック液晶混合物が

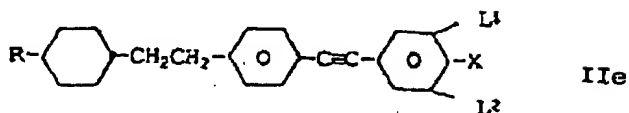
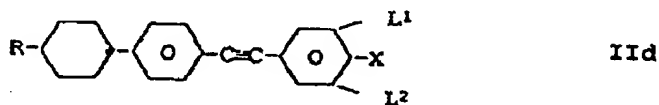
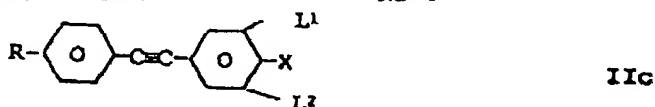
a) 下記式 IIa 又は IIb

【化1】



の1つ以上の化合物、下記式 IIc ないし IIe

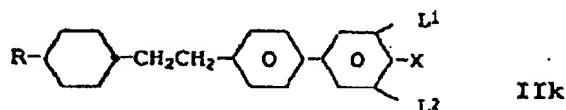
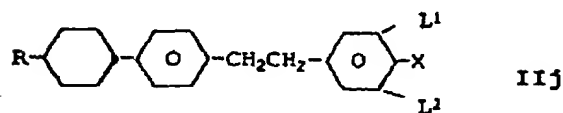
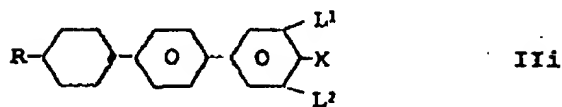
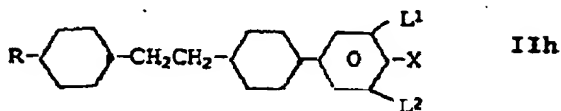
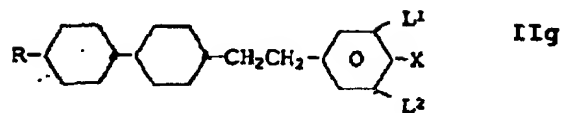
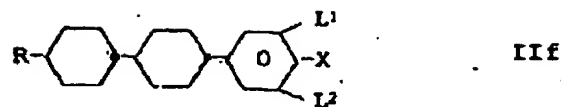
【化2】

の1つ以上の化合物及び  
下記式 III ないし IIk

【化3】

3

4

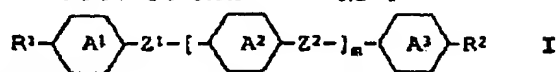


の1つ以上の化合物を含む成分Aを基礎とし（その際これらの式において Rは9個までの炭素原子を有するn-アルキル、n-アルコキシ又はn-アルケニルを表わし、L<sup>1</sup> 及び L<sup>2</sup> は H 又は F であり、そしてXは \*

\*F、Cl、-CF<sub>3</sub>、-CHF<sub>2</sub>、-OCF<sub>3</sub>、-OCHF<sub>2</sub>、-OCF<sub>2</sub>CF<sub>2</sub>H 又は -OC<sub>2</sub>F<sub>5</sub> である）、そしてこれが

b) 下記一般式 I

【化4】



の、-1.5 から +1.5 までの誘電異方性の値を有する1つ以上の化合物よりなる液晶成分B（その際この式において R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> はそれぞれ互いに独立に、9個までの炭素原子を有するn-アルキル、n-アルコキシ、n-オキサアルキル、ω-フルオロアルキル又はn-アルケニルを表わし、環A<sup>1</sup>、A<sup>2</sup> 及び A<sup>3</sup> はそれぞれ互いに独立に 1,4-フェニレン、2-又は3-フルオロ-1,4-フェニレン、trans-1,4-シクロヘキシレン又は 1,4-シクロヘキセニレンであり、Z<sup>1</sup> 及び Z<sup>2</sup> はそれぞれ互いに独立に -CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-, -C≡C-又は単結合を表わし、そして mは0、1、又は2である）を0ないし 40 重量%、

c) -1.5 よりも低い誘電異方性の値を有する1つ以上の化合物のよりなる液晶成分Cを0ないし 20 重量%、

及び

d) 光学活性成分Dを、その層厚さ（面平行な両外側プレートの間隔）とそのキラルネマチック液晶混合物の自然のピッチとの比率が約 0.2 ないし 1.7、なかでも約 0.2 ないし 1.3 となるような量でそれぞれ含み、そしてそのネマチック液晶混合物が少なくとも 60 °Cのネマチック相範囲と、35 mPa・s を超えない粘度と、及び少なくとも+1の誘電異方性の値とを有するが、但しこのネマチック液晶混合物についてのこの誘電異方性値及び各パラメータは 20 °Cの温度におけるものである、スーパーツイスト液晶ディスプレイ。

【請求項2】 成分Aが式 IIa、IIb、IIc、IIg 及び III においてXがFである化合物と、式 IIId、IIe、

(4)

特開平4-283291

5

6

III f、II g 及び III i においてXが $-\text{CF}_3$ 又は $-\text{CHF}_2$ である化合物とを含み、そして成分Aの中のシアノ化合物の割合が0ないし50重量%である、請求項1のディ\*

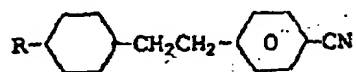
\*スプレー。

【請求項3】 成分Aが下記式 C1 ないし C4

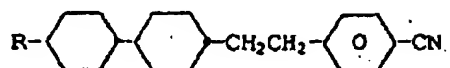
【化5】



C1



C2



C3



C4

の化合物を含む、請求項2のディスプレイ。

【請求項4】 XがF、Cl、 $-\text{CF}_3$ 、 $-\text{OCF}_3$ 、 $-\text{OCHF}_2$ 又は $-\text{CHF}_2$ である、請求項1ないし3の少なくとも1つ

のディスプレイ。

【請求項5】 成分Bが下記式 I1 ないし I8  
【化6】

(5)

特開平4-283291

7

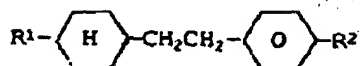
8



I1



I2



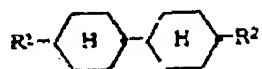
I3



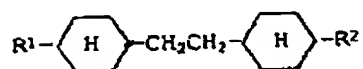
I4



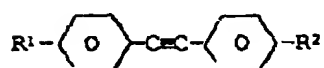
I5



I6



I7

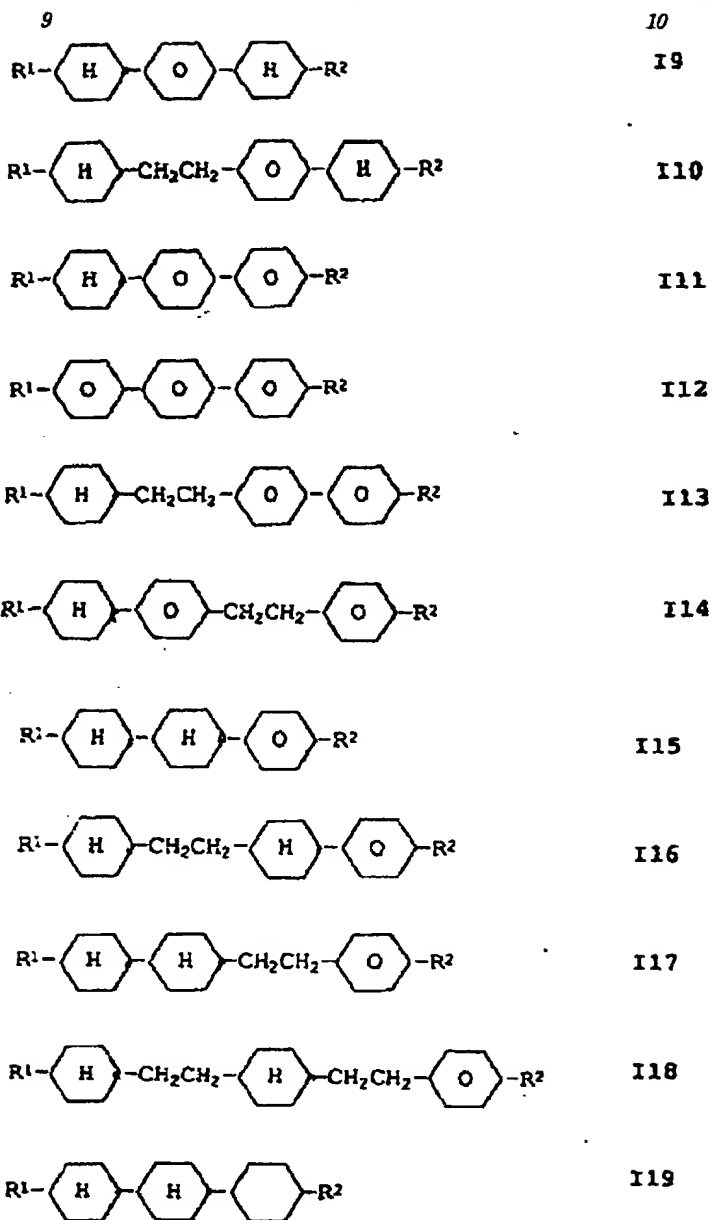


I8

〔これらの式において  $R^1$  及び  $R^2$  は請求項1に定義した通りである〕の群から選ばれた化合物を含む、請求項1ないし4の少なくとも1つのディスプレイ。

【請求項6】 成分Bが追加的に下記式 I9 ないし I24  
【化7】

特開平4-283291



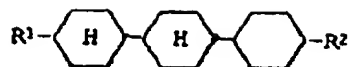
—786—

(7)

特開平4-283291

11

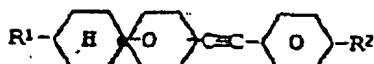
12



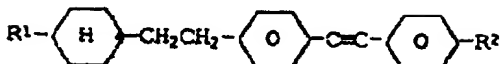
I20



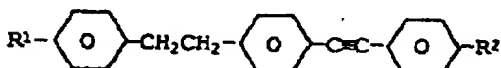
I21



I22



I23



I24

〔これらの式において  $R^1$  及び  $R^2$  は請求項1に定義した通りであり、そして式19 ないし 118 の中の1,4-フェニレン基もそれぞれ互いに独立に弗素によってモノ置換又はポリ置換されていてもよい〕よりなる群から選ばれた1つ以上の化合物を含む、請求項5のディスプレイ\*

\*ー。

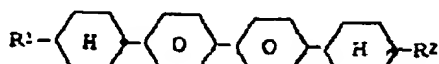
【請求項7】

成分Bが追加的に下記式 125 ないし 1

29

【化9】

20



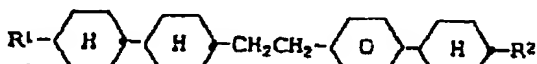
I25



I26



I27



I28



I29

〔これらの式において  $R^1$  及び  $R^2$  は請求項1に定義した通りであり、そして式125 ないし 129 の中の1,4-フェニレン基もそれぞれ互いに独立に弗素によってモノ置換又はポリ置換されていてもよい〕よりなる群から選

※

ばれた1つ以上の化合物を含む、請求項5又は6のディ

スプレー。

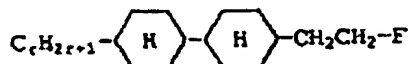
【請求項8】

成分Bが下記式 130 及び 131

【化10】



I30



I31

〔これらの式において  $\text{C}_7\text{H}_{2r+1}$  は7個までの炭素原子を有する直鎖状アルキル基である〕よりなる群から選ばれた1つ以上の化合物を含む、請求項1ないし7の少な

くとも1つのディスプレイ。

【請求項9】

液晶混合物が成分A、B及びCに加え

て、下記式 III 及びIV

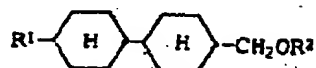
13

14

【化11】



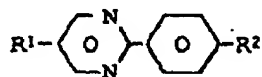
III



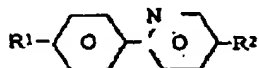
IV

〔これらの式において  $R^1$  及び  $R^2$  は請求項1に定義した通りである〕よりなる群から選ばれた1つ以上の化合物を追加的に含む、請求項1ないし8の少なくとも1つのディスプレイ。

\*【請求項10】 液晶混合物が成分A、B及びCに加えて、下記式V及びVI【化12】



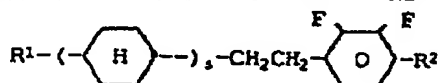
V



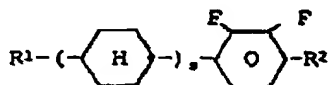
VI

〔これらの式において  $R^1$  及び  $R^2$  は請求項1に定義した通りである〕よりなる群から選ばれた1つ以上の化合物を追加的に含む、請求項1ないし9の少なくとも1つ※【化13】

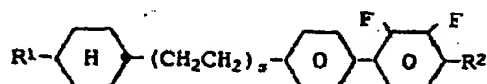
20※のディスプレイ。【請求項11】 成分Cが下記式VIIないしXI【化13】



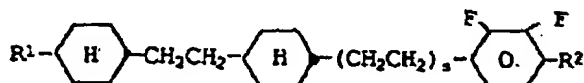
VII



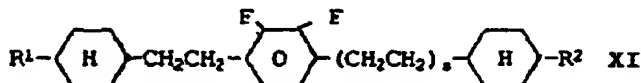
VIII



IX



X

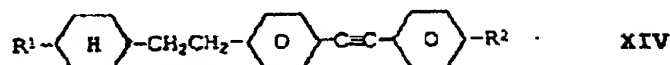
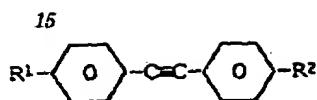


XI

〔これらの式において  $R^1$  及び  $R^2$  は請求項1に定義した通りであり、そして  $s$  は0又は1である〕の群から選ばれた1つ以上の化合物を含む、請求項1ないし10の

40 少なくとも1つのディスプレイ。【請求項12】 成分Bが下記式XIIないしXIV【化14】





【これらの式において R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> は請求項1に定義した通りである】よりなる群から選ばれた1つ以上の化合物を含む、請求項1ないし11の少なくとも1つのディスプレイ。

【請求項13】 請求項1ないし12の少なくとも1つに定義された組成の液晶混合物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は非常に短い応答時間と良好な急峻性及び角度依存性とを有するスーパーツイスト液晶ディスプレイ（以下SLCDと略記する）、及びその中で用いられる新規なネマチック液晶混合物に関する。

【0002】

【従来の技術】 上記のようなSLCDは例えば、EP 0, 131, 216B1、DE 3, 423, 993 A1、EP0, 098, 070 A2、M. Schadt 及び F. Leenhouts：液晶に関する第17回フライベルク会議（1987年4月8-10日）の報告、K. Kawasaki 等：SID 87 Digest, 391 (20.6)、M. Schadt 及び F. Leenhouts：SID 87 Digest, 372 (20.1)、K. Kato 等：日本応用物理学会誌 Vol. 26, No. 11, L 1784 - L 1786 (1987)、F. Leenhouts 等：Appl. Phys. Lett., 50, (21), 1468 (1987)、H. A. van Sprang 及び H. G. Kooopman：J. Appl. Phys., 62 (5), 1734 (1987)、T. J. Scheffer 及び J. Nehring：Appl. Phys. Lett., 45 (10), 1021 (1984)、M. Schadt 及び F. Leenhouts：Appl. Phys. Lett., 50 (5), 236 (1987) 及び E. P. Raynes：Mol. Cryst. Liq. Cryst. Letters, Vol. 4 (1), pp 1-8 (1986) から公知である。ここで「SLCD」の語は、160° と 360° との間の値のツイスト角を有する比較的高度にツイストされた全てのディスプレイ要素をカバーし、これらは例えば Waters 等のディスプレイ要素 [C. M. Waters 等：Proc. Soc. Inf. Disp., (ニューヨーク) (1985)、日本国神戸の第3回国際ディスプレイ会議]、STN-液晶ディスプレイ [EOS 3, 503, 259]、SBE-液晶ディスプレイ [T. J. Scheffer 及び J. Nehring：Appl. Phys. Lett., 45 (1984) 1021]、OMI 液晶ディスプレイ [M. Schadt 及び F. Leenhouts：Appl. Phys. Lett., 50 (1987) 236]、DST-液晶ディスプレイ [EP 05 0, 246, 842] 或いは BW-STN-液晶ディスプレイ [K. Kawasaki 等：SID 87 Dige

st, 391 (20.6)] 等を含むものとする。

【0003】 標準TNディスプレイと比較してこの型のSLCDは電気光学的特性曲線の極めて良好な急峻性、また従って良好なコントラスト値並びにそのコントラストの極めて低い角度依存性によって際立っている。極めて短い応答時間を有するSLCD、中でも比較的低い温度においても極めて短い応答時間を有するSLCDが特に重要である。短い応答時間に達するために、これまでには特にそれら液晶混合物の粘度を、通常種々の液晶成分の最適化された組み合わせを用い、そして場合によってはまた比較的高い蒸気圧を有する単変性の添加物を用いることによって最適化していた。しかしながらこれまでに得られている応答時間は全ての利用対象について適しているというものではなかった。

【0004】 急峻な電気光学的特性曲線に達するためには液晶混合物は  $k_0/k_1$  についての比較的大きな値及び  $\Delta\epsilon/\epsilon_{\perp}$  についての比較的小きな値を有しなければならない。

【0005】 コントラスト及び応答時間の最適化に加えて更にこの型の混合物に重要ないくつかの要求が求められる。すなわち

- 1) d/p ウィンドーが広いこと
- 2) 長期間の化学的安定性が高いこと
- 3) 電気抵抗が高いこと
- 4) 閾値電圧の周波数依存性が低いこと

達成されている種々のパラメータの組み合わせはまだかなり不適当であり、中でも高いマルチプレックスSTNについては種々の要求が物性によって相反する影響を受けるという事実に見られる。

【0006】 従って短い応答時間を有し、かつ同時に上述の要求に合う広い運転温度領域、特性曲線の高い急峻性、コントラストの良好な角度依存性及び低い閾値電圧を備えたSLCDについてなお大きな需要が存在している。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 本発明の目的は上述の諸欠点を持たないか、又は僅かな程度にしかそのような欠点を示さず、そして同時に非常に短い応答時間を有するようなSLCDを提供することである。

【0008】

17

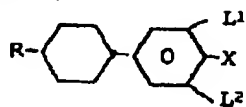
18

【課題を解決するための手段】本発明者等は、そのネマチック液晶混合物が

a) 下記式 IIa 又は IIb

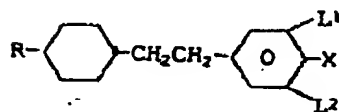
【0009】

【化15】

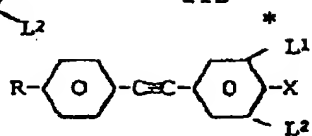


IIa

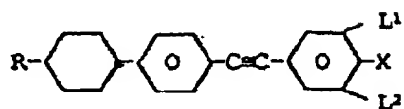
10



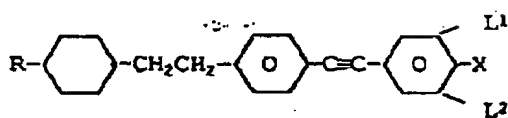
IIb



IIc



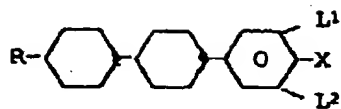
IIId



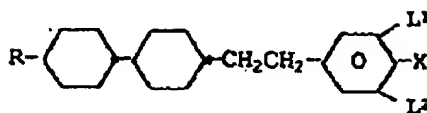
IIe

の1つ以上の化合物及び  
下記式 IIIf ないし IIk

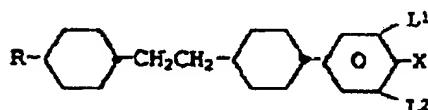
【0011】  
【化17】



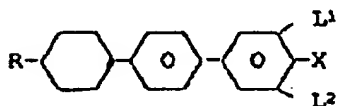
II f



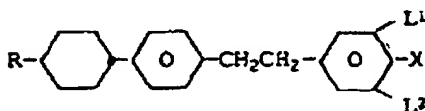
II g



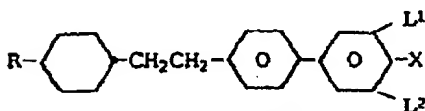
II h



II i



II j



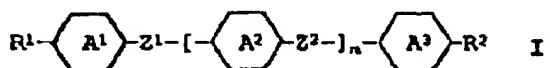
II k

の1つ以上の化合物を含む成分Aを基礎とし（その際これらの式において Rは9個までの炭素原子を有するn-アルキル、n-アルコキシ又はn-アルケニルを表わし、L<sup>1</sup> 及び L<sup>2</sup> は H 又は F であり、そしてXは F、Cl、-CF<sub>3</sub>、-CHF<sub>2</sub>、-OCF<sub>3</sub>、-OCHF<sub>2</sub>、-OCF<sub>2</sub>CF<sub>2</sub>H 又\*

30\*は -OC<sub>2</sub>F<sub>5</sub> である）、そしてこれが  
b) 下記一般式1

[0012]

[化18]



I

の、-1.5 から +1.5 までの誘電異方性の値を有する1つ以上の化合物よりなる液晶成分B（その際この式において R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> はそれぞれ互いに独立に、9個までの炭素原子を有するn-アルキル、n-アルコキシ、n-オキサアルキル、ω-フルオロアルキル又はn-アルケニルを表わし、環A<sup>1</sup>、A<sup>2</sup> 及び A<sup>3</sup> はそれぞれ互いに独立に、1,4-フェニレン、2-又は3-フルオロ-1,4-フェニレン、trans-1,4-シクロヘキシレン又は1,4-シクロヘキセニレンであり、Z<sup>1</sup> 及び Z<sup>2</sup> はそれぞれ互いに独立に -CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-, -C≡C-又は単結合を表わし、そしてmは0、1、又は2である）を0ないし40重量%

c) -1.5 よりも低い誘電異方性の値を有する1つ以上の化合物のよりなる液晶成分Cを0ないし20重量%

及び

d) 光学活性成分Dを、その層厚さ（面平行な両外側プレートの間隔）とそのキラルネマチック液晶混合物の自然のピッチとの比率が約0.2 ないし1.7、なかでも約0.2 ないし1.3 となるような量でそれぞれ含み、そしてそのネマチック液晶混合物が少なくとも60℃のネマチック相範囲と、35 mPa·s を超えない粘度と、及び少なくとも+1の誘電異方性の値とを有するが、但しこのネマチック液晶混合物についてのこの誘電異方性値及び各パラメータは20℃の温度におけるものであるならば上記の目的が達成できることを見いだした。

[0013] 従って本発明は、

50 - 枠とともにセルを構成する、2枚の面平行な外側プ

21

22

レート、

— このセル内に存在する、正の誘電異方性を有するネマチック液晶混合物、

— 外側プレート内側の、配向層の重ね合わされた各電極層、

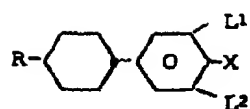
— 各外側プレートとこれら外側プレートの表面のところの分子の長手軸との間の、約1度ないし30度のピッチ角、及び

— セル内の液晶混合物の配向層から配向層への、100度と600度との間の値をもつツイスト角を有するSLC 10 Dにおいて、そのネマチック液晶混合物が

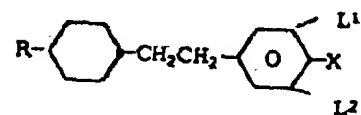
a) 下記式 IIa 又は IIb

【0014】

【化19】



IIa



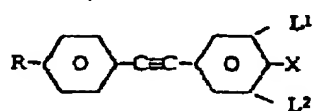
IIb

の1つ以上の化合物、  
下記式 IIc ないし IIe

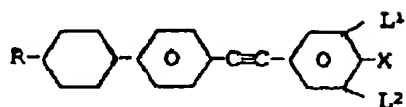
【0015】

【化20】

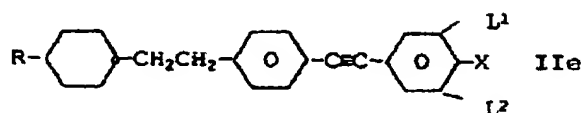
\*



IIc



IIId



IIe

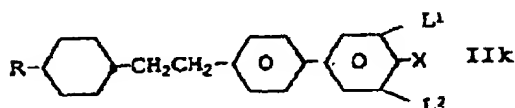
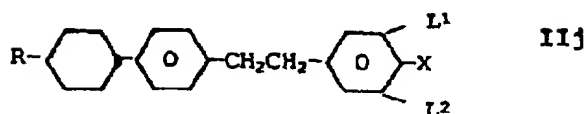
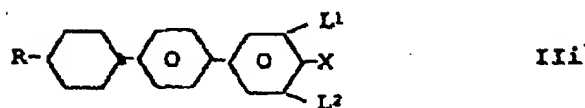
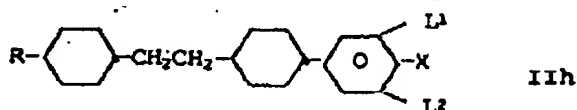
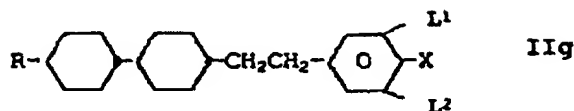
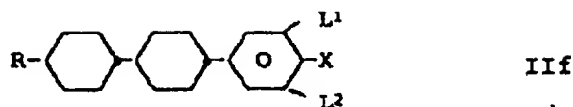
の1つ以上の化合物及び  
下記式 III ないし IIk

【0016】

30 【化21】

23

24



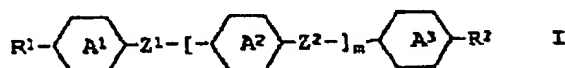
の1つ以上の化合物を含む成分Aを基礎とし（その際これらの式において Rは9個までの炭素原子を有するn-アルキル、n-アルコキシ又はn-アルケニルを表わし、L<sup>1</sup> 及び L<sup>2</sup> は H 又は F であり、そしてXは F、Cl、-CF<sub>3</sub>、-CHF<sub>2</sub>、-OCF<sub>3</sub>、-OCHF<sub>2</sub>、-OCF<sub>2</sub>CF<sub>2</sub>H 又\*

30\*は -OC<sub>2</sub>F<sub>5</sub> である）、そしてこれが

b) 下記一般式 I

[0017]

[化22]



の、-1.5 から +1.5 までの誘電異方性の値を有する1つ以上の化合物よりなる液晶成分B（その際この式において R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> はそれぞれ互いに独立に、9個までの炭素原子を有するn-アルキル、n-アルコキシ、n-オキサアルキル、ω-フルオロアルキル又はn-アルケニルを表わし、環A<sup>1</sup>、A<sup>2</sup> 及びA<sup>3</sup> はそれぞれ互いに独立に1,4-フェニレン、2-又は3-フルオロ-1,4-フェニレン、trans-1,4-シクロヘキシレン又は1,4-シクロヘキセニレンであり、Z<sup>1</sup> 及びZ<sup>2</sup> はそれぞれ互いに独立に -CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-, -C≡C-又は単結合を表わし、そしてmは0、1、又は2である）を0ないし40重量%

c) -1.5 よりも低い誘電異方性の値を有する1つ以上の化合物のよりなる液晶成分Cを0ないし20重量%

及び

d) 光学活性成分Dを、その層厚さ（面平行な両側プレートの間隔）とそのキラルネマチック液晶混合物の自然のピッチとの比率が約0.2ないし1.7、なかでも約0.2ないし1.3となるような量でそれぞれ含み、そしてそのネマチック液晶混合物が少なくとも60℃のネマチック相範囲と、35 mPa・sを超えない粘度と、及び少なくとも+1の誘電異方性の値とを有するが、但しこのネマチック液晶混合物についてのこの誘電異方性値及び各パラメータは20℃の温度におけるものである、上記SLCDに関する。

[0018] 本発明はまた、SLCDに用いるための対応する液晶混合物にも関する。

25

26

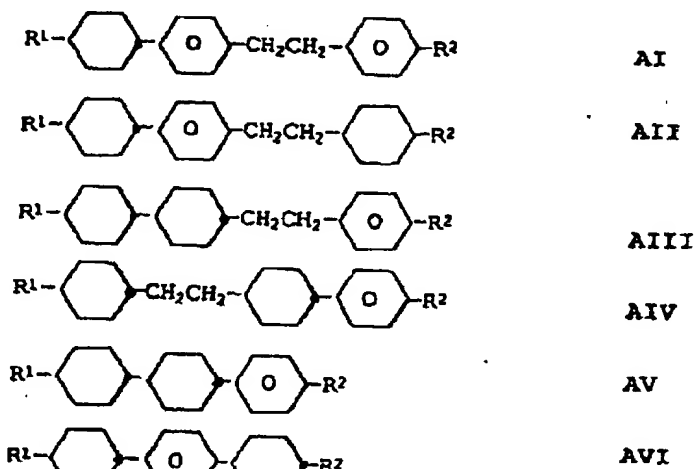
【0019】例えば式I及びIIaないしIIkの個々の化合物、又は本発明に従うSLCDにおいて使用することのできる他の化合物はいずれも公知であるか、又は公知の化合物と同様に作ることができる。

\*【0020】好ましい液晶混合物は

a) 下記式AIないしAVI

【0021】

【化23】



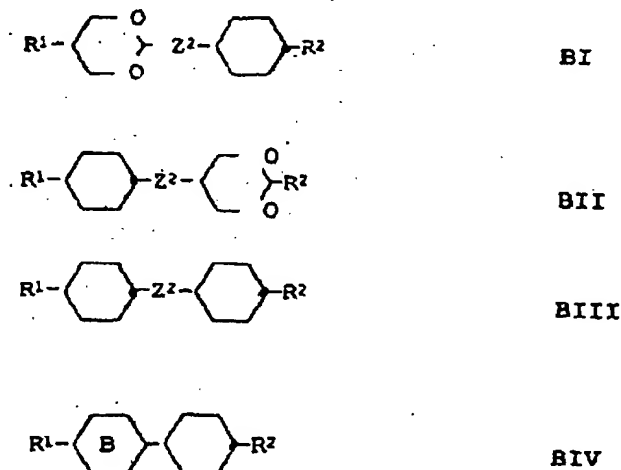
(但しこれらの式においてR<sup>1</sup>及びR<sup>2</sup>はそれぞれ互いに独立に下記のRの意味を有し、すなわちRは1ないし12個の炭素原子を有するアルキルであってその中の1つ又は2つの非隣接のCH<sub>2</sub>基が追加的に-O、-CH=CH-、-CO-、-O-CO-又は-CO-O-によって置き換えら※

※れていてもよい)の化合物よりなる群B4から選ばれた少なくとも1つの成分と、及び/又は

b) 下記式BIないしBIV

【0022】

【化24】



(但しこれらの式においてR<sup>1</sup>とR<sup>2</sup>とはそれぞれ互いに独立にRについて定義したと同じ意味を有し、Z<sup>2</sup>は-CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>-、-CO-O-、-O-CO-又は単結合を表わし、そして

【0023】

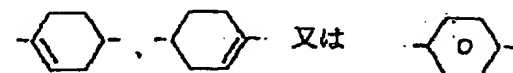
【化25】



は

【0024】

【化26】

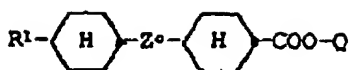


である)の各化合物を含む群B1から選ばれた1つ以上の成分と、及び/又は下記式BVないしBVIII、すなわち

50 【0025】

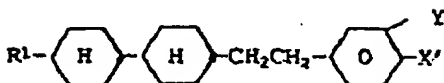
【化27】

27

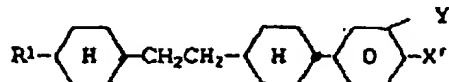


28

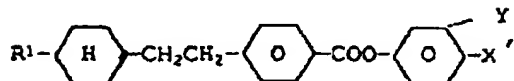
BV



BVI



BVII

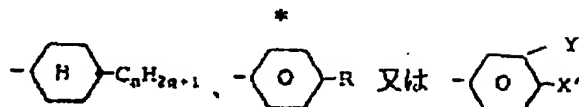


-BVIII

(但しこれらの式において  $R^1$  は R について定義したものと同じであり、 $Z^o$  は  $-\text{CH}_2\text{CH}_2-$  又は単結合であり、  
そして Q は

\* 【0026】

【化28】

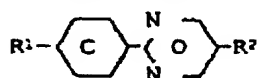


を表わすが、ただしここで n は 1 ないし 9 を、 $X'$  は CN 又は F を、Y は H 又は F を表わす) の化合物を含む群 B2 から選ばれた 1 つ以上の成分と、及び/又は下※

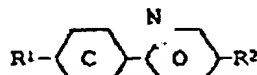
※記式 BVIII 及び BIX、すなわち

【0027】

【化29】



BVIII



BIX

(但しこれらの式において  $R^1$  と  $R^2$  とはそれぞれ互いに独立に R について定義したものと同じであり、そして

【0028】

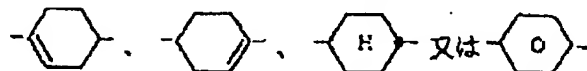
【化30】

★

は

【0029】

【化31】

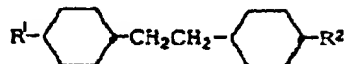


を表わす) の化合物を含む群 B3 から選ばれた 1 つ以上の化合物をも含む。

【0030】式 BIII の特に好ましい化合物は下記の従属式、すなわち

【0031】

【化32】



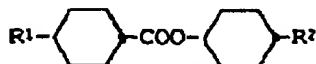
(これらの式において  $R^1$  は  $\text{CH}_3-(\text{CH}_2)_s-\text{O}-$ 、 $-\text{CH}_2-(\text{CH}_2)_s-$ 、 $\text{trans-H}-(\text{CH}_2)_r-\text{CH}=\text{CH}-(\text{CH}_2)_s-\text{CH}_2\text{O}-$  又は  $\text{trans-H}-(\text{CH}_2)_r-\text{CH}=\text{CH}-(\text{CH}_2)_s-$  を表わし、 $R^2$  は  $\text{CH}_3-(\text{CH}_2)_n-$  であり、n は 1、2、3 又は 4 であり、r は 0、1、2 又は 3 であり、s は 0 又は 1 であり、そして

tは1、2、3又は4である]の化合物である。

【0032】更に別な好ましい化合物は下記従属式、すなわち

【0033】

【化33】

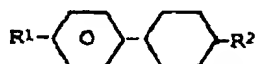


(但し R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> は上に定義したと同じである)の化合物である。

【0034】上述の各従属式のうちの式 BIII の化合物の割合は好ましくは約5ないし45%、特に好ましくは約10ないし35%である。式 BIV の特に好ましい化合物は下記従属式、すなわち

【0035】

【化34】



(但しこの式において R<sup>1</sup> は CH<sub>3</sub>-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-O- 又は trans-H-(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>-CH=CH-(CH<sub>2</sub>)<sub>s</sub>-CH<sub>2</sub>O- であり、そして R<sup>2</sup> は CH<sub>3</sub>-(CH<sub>2</sub>)<sub>t</sub>-であるが、ここで n は 1、2、3 又は 4 であり、r は 0、1、2 又は 3 であり、s は 0 又は 1 であり、そして t は 1、2、3 又は 4 である) のそれである。

【0036】これらの化合物又は式 BIV の化合物の割合は好ましくは約5ないし40%、なかでも好ましくは約10ないし35%である。

【0037】それらの混合物は好ましくは式 III の化合物、なかでも下記従属式、すなわち

【0038】

【化35】



BV : 約5ないし30%、好ましくは約5ないし15%

BVI と BIVII

との合計 : 約5ないし25%、好ましくは約10ないし20%

群B2の好ましい化合物は下記のものである:

【0046】

の化合物を含む。

【0039】特に好ましい具体例の1つにおいてそれら混合物は式 BIII 及び BIV の化合物を同時に含むが、その際これら群B1の成分について全割合は変らない。

【0040】式 BI 及び/又は BIII の化合物が存在する場合には R<sup>1</sup> と R<sup>2</sup> とは好ましくはそれぞれ互いに独立に1ないし7個の炭素原子を有する n-アルキル又は3ないし7個の炭素原子を有する (trans)-n-アルケニルである。Z<sup>2</sup> は好ましくは単結合である。BI が特に好ましい。

【0041】本発明に従う更に好ましい別な混合物は式 BIV において

【0042】

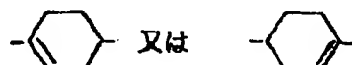
【化36】



が

【0043】

【化37】



であり、そして R<sup>1</sup> と R<sup>2</sup> とが上述した好ましい意味の1つを有し、なかでも好ましくは1ないし7個の炭素原子を有する n-アルキルであるような1つ以上の化合物を含むものである。

【0044】いずれの場合にも群B1の全割合は変らない。

【0045】群B2の各化合物の割合は好ましくは約5ないし45%、なかでも好ましくは5ないし20%である。BIV ないし BIVII についての割合(好ましい範囲)は下記の通りである:

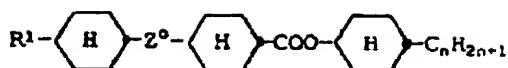
\*

【化38】



31

32



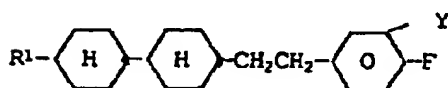
BV1



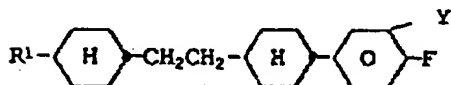
BV2



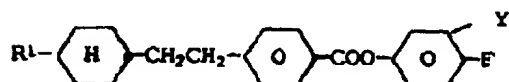
BV3



BVI1



BVII1



BVIII1

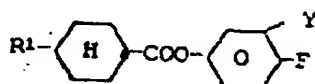
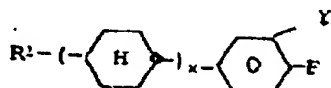
R<sup>1</sup> は好ましくは1ないし7個の炭素原子を有する n-アルキル又は3ないし7個の炭素原子を有する (trans)-n-アルケニルであり、Z<sup>0</sup> は好ましくは単結合であり、R は好ましくは R<sup>1</sup> について述べた好ましい意味を有するか、又は弗素であり、Y は好ましくは弗素である。

【0047】本発明に従う混合物は好ましくは BV3、BVI1 及び BVII1 よりなる群から選ばれる1つ以上の化合物を約5ないし35%の合計割合で含む。

【0048】特に好ましい具体例の1つにおいて本発明に従う混合物は BV3、BVI1、BVII1及び BV2 (R = A) に加えて更に、例えば下記、すなわち

【0049】

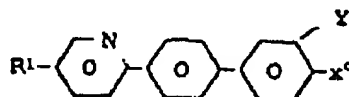
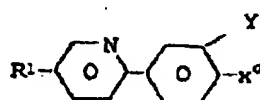
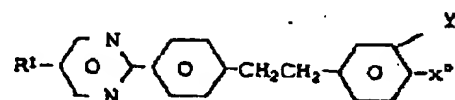
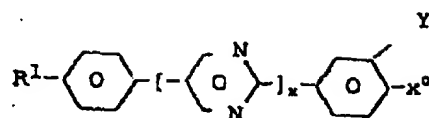
【化39】



よりなる群から選ばれた末端弗素化された化合物及び/又は下記、すなわち

【0050】

【化40】



40

よりなる群から選ばれる極性ヘテロ環化合物を含む(但しこれらの式においてR<sup>1</sup> は好ましくは1ないし7個の炭素原子を有するn-アルキル、又は3ないし7個の炭素原子を有する (trans)-n-アルケニルであり、x は1又は2を、x<sup>0</sup> はF、Cl、CF<sub>3</sub>、-OCF<sub>3</sub>、又は-OCF<sub>2</sub>を、そしてY はH又はFを表わす)。それら末端弗素化された全ての化合物の合計割合は好ましくは約5ないし65%、なかでも約15ないし40%である。

【0051】群B3から選ばれる化合物の割合は好ましくは約5ないし30%、なかでも好ましくは約10ないし

33

し 20 %である。R<sup>1</sup> は好ましくはそれぞれ1ないし9個の炭素原子を有する n- アルキル又は n- アルコキシである。しかしながらアルケニル又はアルケニロキシ基を含む類似の化合物を用いることも可能である。式BVII I の化合物が好ましい。

【0052】 下記の基

【0053】

【化41】



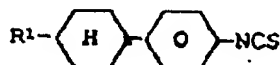
は好ましくは 1,4- フェニレンである。

【0054】 本発明に従う混合物は群B1、B2及びB3の少なくとも1つから選ばれる化合物を含む。それらは好ましくは群B1から選ばれる1つ以上の化合物と群B2及び/又はB3から選ばれる1つ以上の化合物とを含む。

【0055】 更になお好ましいものは例えば下記式

【0056】

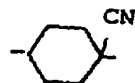
【化42】



において R<sup>1</sup> が1ないし7個の炭素原子を有する n-アルキル、又は3ないし7個の炭素原子を有する n- アルケニルであるイソチオシアネート類である。特に好ましい実施形態の1つにおいて本発明に従う混合物は好ましくは -1.5よりも低い誘電異方性値を有する1つ以上の化合物(成分D) 約5ないし20%を含有する。このような化合物は例えばドイツ特許公開第 3231707 号又はドイツ特許公開第 3407013号において構造要素

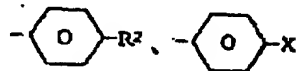
【0057】

【化43】



を有するシクロヘキサン誘導体又は 2,3- ジシアノヒドロキノンの誘導体として公知である。

【0058】 しかしながら好ましくは構造要素 2,3- ジフルオロ-1,4- フェニレンを有する化合物、例えばドイツ特許公開第3807801 号、同第 3807861 号、同第 3807863号、同第3807864 号又は同第 3807908 号に従う化合物を選ぶのがよい。特に好ましいものは国際特許出願\*



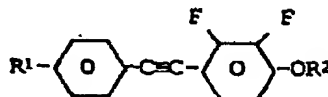
をそれぞれ表わすが、その際X は F, Cl 又は OCF<sub>3</sub>を表わし、そしてR<sup>2</sup> はそれぞれ1ないし7個の炭素原子を有する n-アルキル又は n-アルコキシ、或いはそれぞれ3ないし7個の炭素原子を有する n-アルケニル又は n-アルケニロキシを表わす。

34

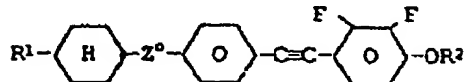
\* PCT/DE 88/00133 号に従うこの構造要素を含むトラン化合物、なかでも下記式

【0059】

【化44】



10

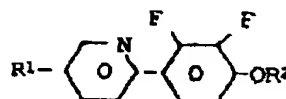


〔但しこれらの式において R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> はそれぞれ互いに独立に、好ましくは1ないし7個の炭素原子を有する n-アルキルであるか、又は3ないし7個の炭素原子を有する n-アルケニルであり、そして Z<sup>0</sup> は -CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>- 又は単結合である〕の化合物、及びドイツ特許出願公開第 38 07 871 号に従う下記式

【0060】

【化45】

20

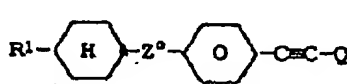
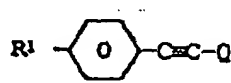


のフェニルピリジン類である。

【0061】 特に好ましい具体例の1つにおいてそれら液晶混合物は約5ないし35%、中でも好ましくは約10ないし20%の液晶性トラン化合物を含む。これによって薄い層厚さ(約5-6 μm)において作動させることができ、それにより応答時間が著しく短縮される。特に好ましいトラン化合物を下に示す：

【0062】

【化46】



但しこれらの式においてR<sup>1</sup> は好ましくは1ないし7個の炭素原子を有する n-アルキル又は n-アルコキシを、Z<sup>0</sup> は -CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>- 又は単結合を、そしてQ は

【0063】

【化47】



又は

【0064】 下記は本発明の更に特に好ましい具体例である。○成分Aが式 IIa、IIb、IIc、IIg 及び III において X が F である化合物及び式 II d、II e、II f、II g 及び III において X が -CF<sub>3</sub>、-OCF<sub>3</sub>、又は -OCF<sub>2</sub> である化合物を含み、そして成分Aの中のシア

(19)

特開平4-283291

35

36

ノ化合物の割合が0ないし 50 重量%、好ましくは0ないし 25 重量%、特に 20 ないし45 重量%である。○  
好ましいシアノ化合物は式 C1 ないし C4

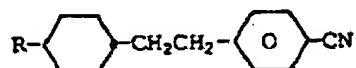
【0065】

【化48】

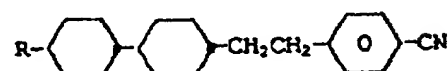
\*



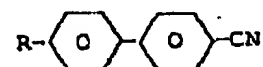
C1



C2



C3



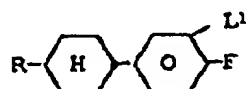
C4

の化合物である。○成分Aが下記 IIa1 ないし IIa3、I  
Ic1 ないし IIc4、IIId1 ないし IIId3及び IIIf1 ない  
し IIIf4

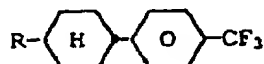
※【0066】

【化49】

※



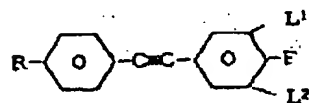
IIa1



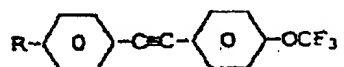
IIa2



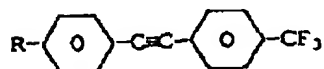
IIa3



IIc1



IIc2



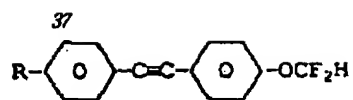
IIc3

【0067】

【化50】

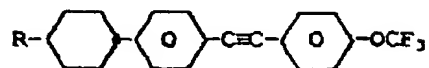
(20)

特開平4-283291

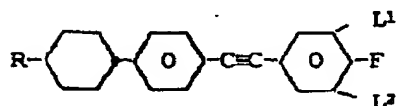


38

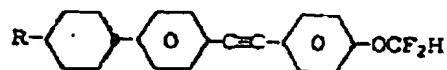
IIc4



IIId1



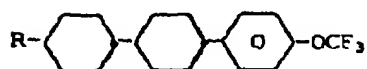
IIId2



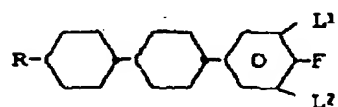
IIId3



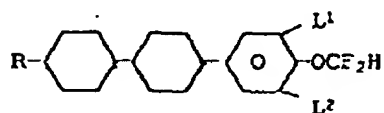
IIIf1



IIIf2



IIIf3

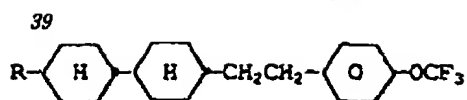


IIIf4

の1つ以上の化合物を含み、その際これらの式において  
R は1ないし9個の炭素原子を有する n- アルキル、  
n-アルコキシ又は n- アルケニルである。

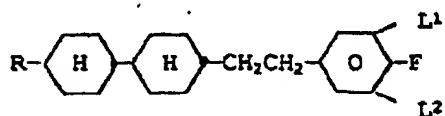
○成分Aが更になお下記 IIg1 ないし IIg3  
40 【0068】  
【化51】

(21)

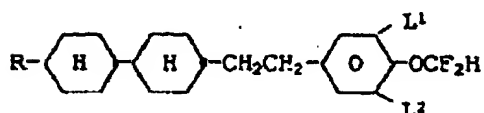


40

IIg1



IIg2



IIg3

(これらの式において R は  $\text{C}_n\text{H}_n$  を表わすが、但し n は 1 ないし 10 である) の 1 つ以上の化合物を含む。

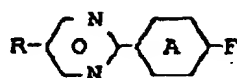
【0070】

【化53】

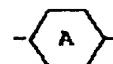
○成分Aが式 IIa ないし IIk の化合物に加えて下記

【0069】

【化52】



(但しこの式において R は 1 ないし 9 個の炭素原子を有する n-アルキル、n-アルコキシ又は n-アルケニルであり、そして



は 1,4-フェニレン又は 2-又は 3-フルオロ-1,4-フェニレンである) の 1 つ以上の化合物を含む。

○X が F、Cl、 $\text{CF}_3$ 、 $-\text{OCF}_3$ 、 $\text{OCHF}_2$  又は  $\text{CHF}_2$  である。

20

○成分Bが式 I1 ないし I8

【0071】

【化54】

(22)

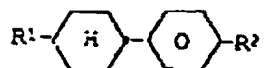
特開平4-283291

41

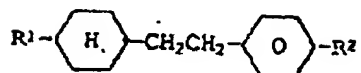


42

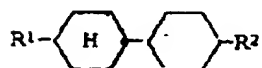
I1



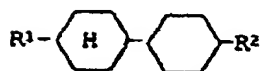
I2



I3



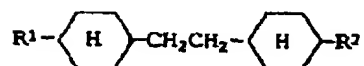
I4



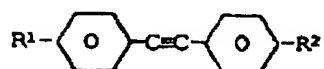
I5



I6



I7



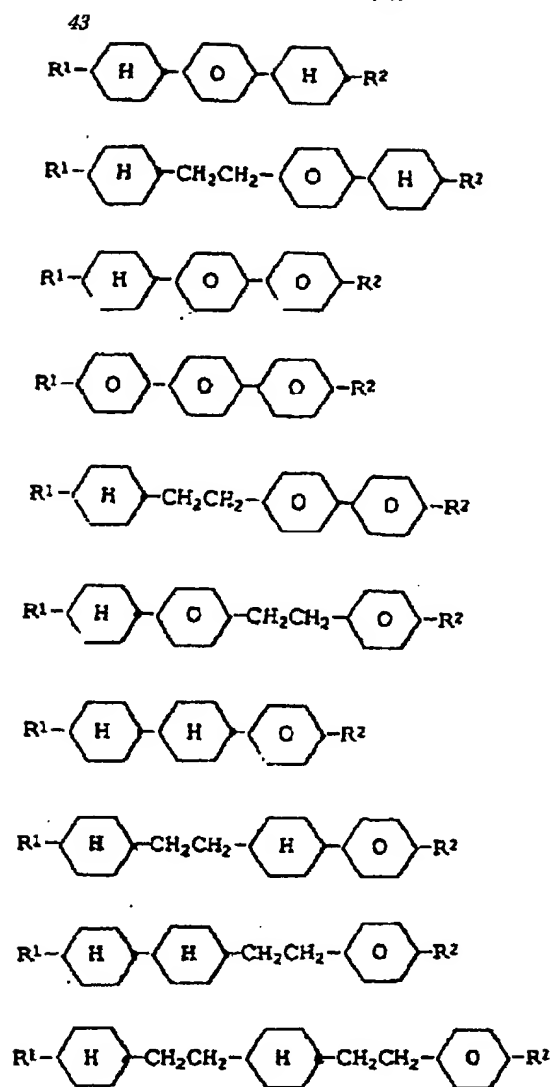
I8

(但しこれらの式において R<sup>1</sup> 及び R<sup>2</sup> は請求項1に定義した意味を有する) の群から選ばれた1つ以上の化合物を含む。

○成分Bが追加的に、式 19 ないし 124  
【0072】  
【化55】

(23)

特開平4-283291



44

I9

I10

I11

I12

I13

I14

I15

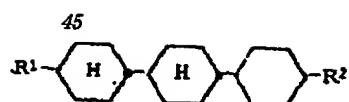
I16

I17

I18

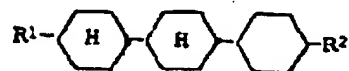
[0073]

[化56]



46

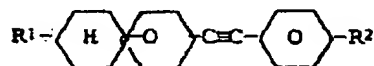
I19



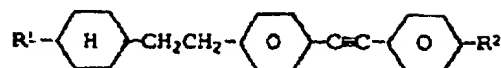
I20



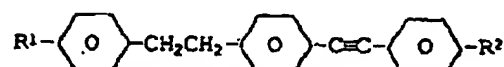
I21



I22



I23



I24

(但しこれらの式において  $R^1$  及び  $R^2$  は請求項1に定義した意味を有し、そして式 I9 ないし I18 の 1,4-フェニレン基はそれぞれ互いに独立に弗素によってモノ置換又はポリ置換されていることもできる) の群から選\*

\* 選ばれた1つ以上の化合物を含む。

○成分Bが追加的に、式 I25 ないし I29

【0074】

【化57】



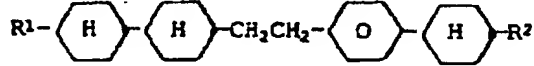
I25



I26



I27



I28



I29

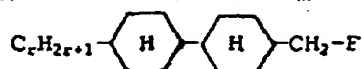
(但しこれらの式において  $R^1$  及び  $R^2$  は請求項1に定義した意味を有し、そして式 I25 ないし I29 の中の 1,4-フェニレン基はそれぞれ互いに独立に弗素によってモノ置換又はポリ置換されていることもできる) の群※40

※から選ばれた1つ以上の化合物を含む。

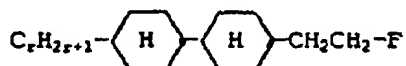
○成分Bが式 I30 及び I31

【0075】

【化58】



I30



I31

(但しこれらの式において  $C_rH_{2r+1}$  は7個までの炭素原子を有する直鎖状のアルキル基である) の群から選ばれた1つ以上の化合物を含む。

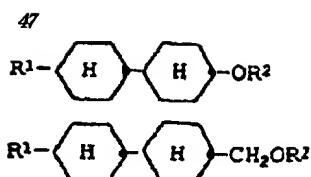
III 及びIV

【0076】

【化59】

○液晶混合物が成分A、B及びCに加えて追加的に、式 50





48

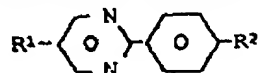
III

IV

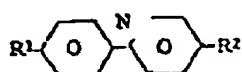
(但しこれらの式において  $\text{R}^1$  及び  $\text{R}^2$  は請求項1に定義した意味を有する) の群から選ばれた1つ以上の化合物を含む。

\* V 及び VI  
【0077】  
【化60】

○液晶混合物が成分A、B及びCに加えて追加的に、式\*



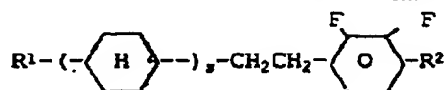
V



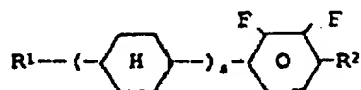
VI

(但しこれらの式において  $\text{R}^1$  及び  $\text{R}^2$  は請求項1に定義した意味を有する) の群から選ばれた1つ以上の化合物を含む。

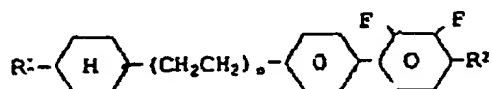
※成分Cが、式 VII 及び XI  
【0078】  
※ 【化61】



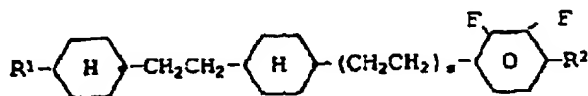
VII



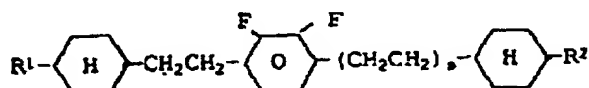
VIII



IX



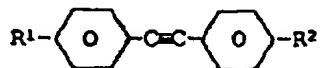
X



XI

(但しこれらの式において  $\text{R}^1$  及び  $\text{R}^2$  は請求項1に定義した意味を有し、そして  $s$  は0又は1である) の群から選ばれた1つ以上の化合物を含む。

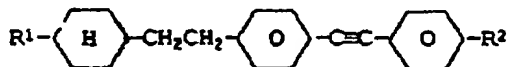
40 ○成分Bが式 XII ないし XIV  
【0079】  
【化62】



XII



XIII

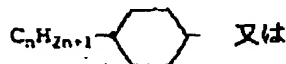


XIV

49

(但しこれらの式において  $R^1$  及び  $R^2$  は請求項1に定義した意味を有する) の群から選ばれた1つ以上の化合物を含む。専ら式IIa ないし IIh の化合物(群A) 及び成分Cの化合物のみを含み、すなわち成分Bの化合物を含まない混合物が好ましい。

【0080】式IIa ないし IIk ( $X = F, Cl, -CF_3, -CHF_2, -OCF_3$  又は  $-OCF_2$ ) の末端ハロゲン化合物を含む好ましい混合物が特に好ましい物性値の組み合わせ及び同時に広いd/pウィンドーを有する。 \*



の基を表わし、n は1から15までの整数であり、そして $X^2$  はF、Cl 又は  $OCF_3$  である) の少なくとも1つの化合物を含む本発明に従う液晶混合物及び式 II d2 - II d5、II a1 - II a3 及び II f1 - II f3 の化合物は閾値電圧  $V_{10\sim 20}$  及び流動粘度についての好ましい値を有し、そして比較的高い、又は高い光学異方性によって特徴づけられる。比較的高い、又は高い $\Delta n$ の値のために層厚さdは比較的小さく選ぶことができ、このような特に好ましい混合物を用いて駆動されるディスプレイは一般に、スイッチオン時間t 及び/又はスイッチオフ時間t についての好ましい値によって特徴づけられる。これらの混合物が好ましい。

【0084】その若干のものが市販において入手できるようなキラリティドーパ剤の広い範囲のものを当業者は成分Dについて得ることができる。それらの選択は重要ではない。

【0085】本発明に従うSLCDにおいて用いられる液晶混合物は $\Delta \epsilon \geq 1$ とともに正の誘電値を有する。 $\Delta \epsilon \geq 3$ である液晶混合物が特に好ましく、そして $\Delta \epsilon \geq 5$ であるようなものが特に非常に好ましい。

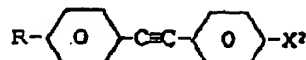
【0086】本発明に従う液晶混合物は閾値電圧  $V_{10\sim 20}$  及び流動粘度 $\eta$ についての好ましい値を有する。もし光路差 $d \cdot \Delta n$ が特定されているときは層厚さdの値は光学異方性値 $\Delta n$ によって決定される。特に $d \cdot \Delta n$ の比較的高い、又は高い値において光学異方性の比較的高い、又は高い値を有する本発明に従う液晶混合物の使用が一般に好ましく、と言うのはこの場合にdについての値を比較的小さく選ぶことができ、これはより好ましい応答時間の値をもたらすからである。しかしながら比較的小さな $\Delta n$ の値を有する本発明に従う液晶混合物を含む本発明に従う液晶ディスプレイは応答時間についての有利な値によっても特徴づけられる。本発明に従う液晶混合物は更にまた、電気的特性曲線の急峻性についての有利な値によって特徴づけられ、そして高いマルチブックス比で作動させることができる。加えて、本発明に従う液晶混合物は電気抵抗及び閾値電圧の周波数依存性についての高い安定性と好ましい値とを有する。本発明に従う液晶ディスプレイは広い作動温度範囲とコ

50

\* 【0081】成分Aが少なくとも下記式

【0082】

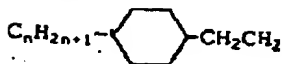
【化63】



【但しこの式においてR は  $C_6H_5$ 、 $-OC_6H_5$ 、下記式

【0083】

【化64】



ントラストの良好な角度依存性とを有する。

【0087】本発明に従う液晶ディスプレイ要素の、それぞれ電極に接する各液晶分子の優先配向(ディレクタ)が一方の電極から他方の電極へ通常  $160^\circ$  ないし  $360^\circ$  の角度でツイストされているように表面処理のほどこされた電極と、ポーラライザと、及び電極基板とからなる構造は通常の構造のディスプレイ要素のそれと同じである。ここで用いる「通常の構造」の概念は広い意味のものであり、そしてスーパーツイストセルの全ての変形又は修飾、中でもマトリックスディスプレイ要素及びドイツイ特許公開第2748738号の、追加的に磁石を含むディスプレイ要素をも包含するものとする。両外側プレートのところの表面チルト角は同一であっても異なってもよい。等しいチルト角の方が好ましい。

【0088】しかしながら、本発明に従うディスプレイ要素の、従来通常的であったツイステドネマチックセルに基づくものとの本質的な差異は、その液晶層の各液晶成分の選択に存在する。

【0089】本発明に従い使用することのできる液晶混合物は公知の態様で作られる。一般により少ない量で用いられる成分の所望量をその主要部をなす成分の中に、好都合には高められた温度において溶解させる。各種成分の、例えばアセトン、クロロホルム又はメタノールのような有機溶剤中の溶液を混合し、そして十分に混合した後でその溶剤を例えば蒸発によって除去することも可能である。それら誘電体はまた、当業者に公知で文献に記載されているような種々の添加物を含有することもできる。例えば0-15%の多色性染料を加えることができる。

【0090】

【実施例】以下に本発明をいくつかの例によって説明するが、これは本発明になんら制限をもたらすものではない。

【0091】これらの例において下記の略記号を用いる:

S-N スメクチック/ネマチックの相転位温度

c.p. 透明点

visc. 粘度 (mPa·s)

51

T 最高コントラストの90%に達するまでの応答時間

T 最高コントラストの10%に達するまでのスイッチオフ時間

S L C Dはマルチブックスモードで運転される(マルチブックス比=1:100、バイアス=1:11、運転電圧=18.5ボルト)以上及び以下の記述において温度は全て℃の単位であってあり、%の値は重量基準である。応答時間及び粘度の値は20℃のそれである。

【0092】実施例中の個々の化合物はコード化し、例109の後に示した。

#### 例 1

下記のパラメータ

ツイスト角 240°

ピッチ角 5°

d・Δn 1.026

を有し、そして下記

c.p. 84℃

Δn 0.1496

Δε +7.2

visc. (20℃) 15 mPa·s

のパラメータの液晶混合物を含み、かつ下記

PCH-3 20.0 %

PCH-5F 14.0 %

PCH-6F 6.0 %

PCH-301 4.0 %

PTP-20F 6.0 %

PTP-40F 5.0 %

CCP-20CF<sub>3</sub> 5.0 %

CCP-30CF<sub>3</sub> 5.0 %

CCP-40CF<sub>3</sub> 5.0 %

CCP-50CF<sub>3</sub> 5.0 %

CPTP-50CF<sub>3</sub> 8.0 %

CPTP-301 5.0 %

CPTP-302 6.0 %

CPTP-303 6.0 %

よりなる基礎混合物とキラル成分〔2-オクチル-p(p-*n*-ヘキシルベンゾイルオキシ)-ベンゾエート〕とを含むS T N型のS L C Dは閾値電圧  $V_{100/20} = 2.01$  ボルト、 $V_{900/20} = 2.19$  ボルトを有する。

#### 例 2

例1に相当するS L C Dの1つは下記

PCH-5F 7.0 % c.p. 86℃

PCH-6F 7.0 % Δn 0.1406

EHP-3F.F 11.0 %

EHP-5F.F 11.0 %

BCH-3F.F 13.0 %

BCH-5F.F 13.0 %

CPTP-30CF<sub>3</sub> 5.0 %

52

CPTP-50CF<sub>3</sub> 5.0 %

ECCP-3F.F 9.0 %

ECCP-5F.F 9.0 %

PTP-20F 5.0 %

PTP-40F 5.0 %

よりなる液晶混合物と例1からのキラル成分とを含み、そして閾値電圧

$V_{100/20} = 2.04$  ボルト

を有する。

#### 例 3

例1に相当するS L C Dの1つは下記

PCH-5F 7.0 % c.p. 94℃

PCH-6F 7.0 % Δn 0.1406

ECCP-3F.F 9.0 %

ECCP-5F.F 9.0 %

ECCP-30CF<sub>3</sub> 5.0 %

ECCP-50CF<sub>3</sub> 4.0 %

CCP-30CF<sub>3</sub> 4.0 %

CCP-50CF<sub>3</sub> 4.0 %

BCH-3F.F 13.0 %

BCH-5F.F 13.0 %

CPTP-30CF<sub>3</sub> 6.0 %

CPTP-50CF<sub>3</sub> 6.0 %

PTP-20F 5.0 %

PTP-40F 5.0 %

PTP-102 3.0 %

よりなる液晶混合物と例1からのキラル成分とを含み、そして閾値電圧

$V_{100/20} = 2.48$  ボルト

を有する。

#### 例 4

例1に相当するS L C Dの1つは下記

PYP-3F 7.0 % c.p. 87℃

PYP-5F 7.0 % Δn 0.1457

PCH-5F 4.0 %

ECCP-3F.F 9.0 %

ECCP-5F.F 9.0 %

ECCP-30CF<sub>3</sub> 4.0 %

ECCP-50CF<sub>3</sub> 4.0 %

CCP-30CF<sub>3</sub> 4.0 %

CCP-50CF<sub>3</sub> 4.0 %

BCH-3F.F 13.0 %

BCH-5F.F 13.0 %

CPTP-30CF<sub>3</sub> 6.0 %

CPTP-50CF<sub>3</sub> 6.0 %

PTP-20F 5.0 %

PTP-40F 5.0 %

よりなる液晶混合物と例1からのキラル成分とを含み、

そして閾値電圧

$V_{10020} = 2.25$  ボルト

を有する。

#### 例 5

例1に相当するSLCDの1つは下記

PCH-3	15.0 %	c. p.	83℃
PCH-5F	10.0 %	$\Delta n$	0.1422
PCH-4F	5.0 %		
CCP-30CF <sub>3</sub>	6.0 %		
CCP-40CF <sub>3</sub>	4.0 %		
CCP-50CF <sub>3</sub>	5.0 %		
ECCP-30CF <sub>3</sub>	5.0 %		
ECCP-50CF <sub>3</sub>	5.0 %		
ECCP-3F.F	6.0 %		
ECCP-5F.F	6.0 %		
PTP-102	4.0 %		
PTP-201	4.0 %		
PTP-20F	5.0 %		
PTP-40F	5.0 %		
CPTP-301	4.0 %		
CPTP-302	3.0 %		
CPTP-303	4.0 %		

よりなる液晶混合物と例1からのキラル成分とを含み、

そして閾値電圧

PTP-40F	6.0 %
K9	7.0 %
PCH-3	12.0 %
PCH-5	10.0 %
PCH-5F	7.0 %
PCH-301	10.0 %
CCP-30CF <sub>3</sub>	7.0 %
CCP-50CF <sub>3</sub>	6.0 %
ECCP-31	6.0 %
ECCP-32	6.0 %
ECCP-33	5.0 %
ECCP-35	5.0 %
PTP-201	4.0 %
PTP-102	4.0 %
CPTP-302	5.0 %

よりなる液晶混合物と例1からのキラル成分とを含み、

そして閾値電圧

$V_{10020} = 2.22$  ボルト

を有する。

#### 例 8

例1に相当するSLCDの1つは下記

PCH-5F	3.0 %	c. p.	84℃
PCH-6F	6.0 %	$\Delta n$	0.1401
PCH-7F	7.0 %		

\*  $V_{10020} = 2.18$  ボルト

を有する。

#### 例 6

例1に相当するSLCDの1つは下記

PCH-5F	6.0 %	c. p.	79℃
PCH-6F	6.0 %	$\Delta n$	0.1545
PCH-7F	5.0 %		
CCP-20CF <sub>3</sub>	7.0 %		
10 CCP-30CF <sub>3</sub>	10.0 %		
CCP-50CF <sub>3</sub>	10.0 %		
BCH-3F.F	13.0 %		
BCH-5F.F	13.0 %		
PTP-40F	10.0 %		
PTP-50F	8.0 %		
PTP-102	5.0 %		
PTP-201	5.0 %		
CPTP-301	2.0 %		

よりなる液晶混合物と例1からのキラル成分とを含み、

20 そして閾値電圧

$V_{10020} = 2.50$  ボルト

を有する。

#### 例 7

例1に相当するSLCDの1つは下記

*	c. p.	79℃
	visc. (20℃)	15 mm <sup>2</sup> s <sup>-1</sup>
	$\Delta n$	0.1399

PTP-102	4.0 %
PTP-201	5.0 %
PTP-40F	6.0 %
CCP-20CF <sub>3</sub>	6.0 %
CCP-30CF <sub>3</sub>	6.0 %
CCP-40CF <sub>3</sub>	6.0 %
CCP-50CF <sub>3</sub>	6.0 %
ECCP-30CF <sub>3</sub>	4.0 %
BCP-3F.F	13.0 %
50 BCP-5F.F	13.0 %

55

56

CPTP-30CF<sub>3</sub> 5.0 %

\*を有する。

CPTP-50CF<sub>3</sub> 5.0 %

よりなる液晶混合物と例1からのキラル成分とを含み、  
そして閾値電圧

## 例 9

例1に相当するSLCDの1つは下記

V<sub>100/20</sub> = 2.39 ボルト

\*

PCH-3	20.0 %	c. p. 82℃
PCH-5	8.0 %	Δn 0.1506
PCH-5F	12.0 %	visc. (20℃) 16 mm <sup>2</sup> s <sup>-1</sup>
PCH-301	4.0 %	
PTP-20F	6.0 %	
PTP-40F	5.0 %	
CCP-20CF <sub>3</sub>	4.0 %	
CCP-30CF <sub>3</sub>	4.0 %	
CCP-50CF <sub>3</sub>	4.0 %	
ECCP-30CF <sub>3</sub>	5.0 %	
ECCP-50CF <sub>3</sub>	5.0 %	
CPTP-301	5.0 %	
CPTP-302	5.0 %	
CPTP-303	5.0 %	
PTP-102	4.0 %	

よりなる液晶混合物と例1からのキラル成分とを含み、  
そして閾値電圧

V<sub>100/20</sub> = 2.13 ボルト

を有する。

PCH-53 : trans-1-p-プロピルフェニル-4-ベン  
チルシクロヘキサン

I-32 : 1-(trans-4-プロピルシクロヘキシ  
ル)-2-(4'-エチル-2'-フルオロビフェニル-4-イル) エ  
タン

I-35 : 1-(trans-4-プロピルシクロヘキシ  
ル)-2-(4'-ベンチル-2'-フルオロビフェニル-4-イル)  
エタン

BCH-32 : 4-エチル-4'-(trans-4-プロピルシ  
クロヘキシル)-ビフェニル

BCH-52 : 4-エチル-4'-(trans-4-ベンチルシ  
クロヘキシル)-ビフェニル

CCH-303 : trans,trans-4-プロボキシ-4'-プロピ  
ルシクロヘキシルシクロヘキサン

CCH-501 : trans,trans-4-メトキシ-4'-ベンチル  
シクロヘキシルシクロヘキサン

CH-35 : trans-4-ベンチルシクロヘキシルtran  
s,trans-4-プロピルシクロヘキシルシクロヘキサンカル  
ボキシレート

CH-43 : trans-4-プロピルシクロヘキシルtran  
s,trans-4-ブチルシクロヘキシルシクロヘキサンカルボ  
キシレート

CH-45 : trans-4-ベンチルシクロヘキシルtran  
s,trans-4-ブチルシクロヘキシルシクロヘキサンカルボ  
キシレート

PCH-302 : trans-1-p-エトキシフェニル-4-プロ

ピルシクロヘキサン

PCH-303 : trans-1-p-プロボキシフェニル-4-ブ  
ロピルシクロヘキサン

PCH-30 : trans-1-p-ブトキシフェニル-4-プロ  
ピルシクロヘキサン

CCH-502 : trans,trans-4-エトキシ-4'-ベンチル  
シクロヘキシルシクロヘキサン

ECCP-32 : 1-[trans-4-(trans-4-プロピルシクロ  
ヘキシル)シクロヘキシル]-2-(p-エチルフェニル) エ  
タン

ECCP-31 : 1-[trans-4-(trans-4-プロピルシクロ  
ヘキシル)シクロヘキシル]-2-(p-メチルフェニル) エ  
タン

ECCP-35 : 1-[trans-4-(trans-4-プロピルシクロ  
ヘキシル)シクロヘキシル]-2-(p-ベンチルフェニル)  
エタン

PCH-501 : trans-1-p-メトキシフェニル-4-ベン  
チルシクロヘキサン

PCH-502 : trans-1-p-エトキシフェニル-4-ベン  
チルシクロヘキサン

CP-33 : p-プロピルフェニルtrans,trans-4-ブ  
ロピルシクロヘキシルシクロヘキサンカルボキシレート

CP-35 : p-ベンチルフェニルtrans,trans-4-ブ  
ロピルシクロヘキシルシクロヘキサンカルボキシレート

CP-43 : p-プロピルフェニルtrans,trans-4-ブ  
チルシクロヘキシルシクロヘキサンカルボキシレート

CP-45 : p-ベンチルフェニルtrans,trans-4-ブ  
チルシクロヘキシルシクロヘキサンカルボキシレート

PTP-40F : 4-ブトキシ-4'-フルオロトラン

PTP-50F : 4-ペントキシ-4'-フルオロトラン

57

PTP-20F : 4-エトキシ-4'-フルオロトラン  
 PCH-301 : trans-1-p-エトキシフェニル-4-プロ  
 ビルシクロヘキサン  
 CCH-301 : trans, trans-4-メトキシ-4'-プロビル  
 シクロヘキシルシクロヘキサン  
 CBC-33F : 4, 4'-ビス(trans-4-プロビルシクロ  
 ヘキシル)-2-フルオロビフェニル  
 CBC-55F : 4, 4'-ビス(trans-4-ベンチルシクロ  
 ヘキシル)-2-フルオロビフェニル  
 CBC-53F : 4-(trans-4-ベンチルシクロヘキシ  
 ル)-4'-(trans-4-プロビルシクロヘキシル)-2-フルオロ  
 ビフェニル  
 CBC-33 : 4, 4'-ビス(trans-4-プロビルシクロ  
 ヘキシル) ビフェニル  
 CBC-55 : 4, 4'-ビス(trans-4-ベンチルシクロ  
 ヘキシル) ビフェニル  
 CBC-53 : 4-(trans-4-ベンチルシクロヘキシ  
 ル)-4'-(trans-4-プロビルシクロヘキシル) ビフェニル  
 ECCP-33 : 1-[trans-4-(trans-4-プロビルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル]-2-(p-プロビルフェニル) エ  
 タン  
 CCH-51F : trans, trans-4-フルオロメチル-4'-ベン  
 チルシクロヘキシルシクロヘキサン  
 CCH-31F : trans, trans-4-フルオロメチル-4'-プロ  
 ビルシクロヘキシルシクロヘキサン  
 PTP-102 : 4-メチル-4'-エトキシトラン  
 PTP-201 : 4-メトキシ-4'-エチルトラン  
 CPTP-301 : 4-(trans-4-プロビルシクロヘキシ  
 ル)-4'-メトキシトラン  
 CPTP-302 : 4-(trans-4-プロビルシクロヘキシ  
 ル)-4'-エトキシトラン  
 CPTP-303 : 4-(trans-4-プロビルシクロヘキシ  
 ル)-4'-プロボキシトラン  
 PCH-5F : trans-1-p-フルオロフェニル-4-ベン  
 チルシクロヘキサン  
 PCH-6F : trans-1-p-フルオロフェニル-4-ヘキ  
 シルシクロヘキサン  
 PCH-7F : trans-1-p-フルオロフェニル-4-ヘブ  
 チルシクロヘキサン  
 EPCH-20CF<sub>3</sub> : 1-(trans-4-エチルシクロヘキシル)-  
 2-(p-トリフルオロメトキシフェニル) エタン  
 EPCH-30CF<sub>3</sub> : 1-(trans-4-プロビルシクロヘキシ  
 ル)-2-(p-トリフルオロメトキシフェニル) エタン  
 EPCH-50CF<sub>3</sub> : 1-(trans-4-ベンチルシクロヘキシ  
 ル)-2-(p-トリフルオロメトキシフェニル) エタン  
 EPCH-70CF<sub>3</sub> : 1-(trans-4-ヘブチルシクロヘキシ  
 ル)-2-(p-トリフルオロメトキシフェニル) エタン  
 PCH-30CF<sub>3</sub> : trans-1-p-トリフルオロメトキシフェ  
 ニル-4-プロビルシクロヘキサン  
 PCH-50CF<sub>3</sub> : trans-1-p-トリフルオロメトキシフェ

58

ニル-4-ベンチルシクロヘキサン  
 ECCP-30CF<sub>3</sub> : 1-[trans-4-(trans-4-プロビルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル]-2-(p-トリフルオロメトキ  
 シフェニル) エタン  
 ECCP-50CF<sub>3</sub> : 1-[trans-4-(trans-4-ベンチルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル]-2-(p-トリフルオロメトキ  
 シフェニル) エタン  
 CCP-20CF<sub>3</sub> : p-[trans-4-(trans-4-エチルシクロヘ  
 キシル) シクロヘキシル] トリフルオロメトキシベンゼ  
 ン  
 CCP-30CF<sub>3</sub> : p-[trans-4-(trans-4-プロビルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル] トリフルオロメトキシベン  
 ゼン  
 CCP-40CF<sub>3</sub> : p-[trans-4-(trans-4-ブチルシクロヘ  
 キシル) シクロヘキシル] トリフルオロメトキシベンゼ  
 ン  
 CCP-50CF<sub>3</sub> : p-[trans-4-(trans-4-ベンチルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル] トリフルオロメトキシベン  
 ゼン  
 BCH-30CF<sub>3</sub> : 4-トリフルオロメトキシ-4'-(trans-4  
 -プロビルシクロヘキシル)-ビフェニル  
 ECCP-3F.F : 1-[trans-4-(trans-4-プロビルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル]-2-(3, 4-ジフルオロフェニ  
 ル) エタン  
 ECCP-5F.F : 1-[trans-4-(trans-4-ベンチルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル]-2-(2, 3-ジフルオロフェニ  
 ル) エタン  
 CCP-3F.F : 4-[trans-4-(trans-4-プロビルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル]-1, 2-ジフルオロベンゼン  
 CCP-5F.F : 4-[trans-4-(trans-4-ベンチルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル]-1, 2-ジフルオロベンゼン  
 D-302FF : 2, 3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル  
 trans-4-プロビルシクロヘキシルカルボキシレート  
 D-502FF : 2, 3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル  
 trans-4-ベンチルシクロヘキシルカルボキシレート  
 CCP-3F : 4-[trans-4-(trans-4-プロビルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル] フルオロベンゼン  
 ECCP-3F : 1-[trans-4-(trans-4-プロビルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル]-2-(p-フルオロフェニル)  
 エタン  
 ECCP-5F : 1-[trans-4-(trans-4-プロビルシクロ  
 ヘキシル) シクロヘキシル]-2-(p-フルオロフェニル)  
 エタン  
 CP-3F : p-フルオロフェニル trans-4-(trans-  
 4-プロビルシクロヘキシル) シクロヘキサンカルボキシ  
 レート  
 CP-5F : p-フルオロフェニル trans-4-(trans-  
 4-ベンチルシクロヘキシル) シクロヘキサンカルボキシ  
 レート  
 PYP-5F : 2-p-フルオロフェニル-6-ベンチルビ

リミジン  
 PYP-6F : 2-p-フルオロフェニル-5-ヘキシルピ  
 リミジン  
 PYP-7F : 2-p-フルオロフェニル-5-ヘブチルピ  
 リミジン  
 PYP-30CF<sub>3</sub> : 2-p-トリフルオロメトキシフェニル-5  
 -プロピルピリミジン  
 PYP-50CF<sub>3</sub> : 2-p-トリフルオロメトキシフェニル-5  
 -ベンチルピリミジン  
 PYP-70CF<sub>3</sub> : 2-p-トリフルオロメトキシフェニル-5  
 -ヘブチルピリミジン  
 PCH-3 : p-trans-4-プロピルシクロヘキシルベン  
 ゾニトリル  
 PCH-4 : p-trans-4-ブチルシクロヘキシルベン  
 ゾニトリル  
 PCH-5 : p-trans-4-ベンチルシクロヘキシルベン  
 ゾニトリル  
 ECCP-3 : 1-[trans-4-(trans-4-プロピルシクロ  
 ヘキシル)シクロヘキシル]-2-(p-シアノフェニル)エ  
 タン  
 ECCP-3CF<sub>3</sub> : 1-[trans-4-(trans-4-プロピルシクロ  
 ヘキシル)シクロヘキシル]-2-(p-トリフルオロメチル  
 フェニル)エタン  
 ECCP-5CF<sub>3</sub> : 1-[trans-4-(trans-4-ベンチルシクロ  
 ヘキシル)シクロヘキシル]-2-(p-トリフルオロメチル  
 フェニル)エタン  
 PYP-5N.F : 2-(3-フルオロ-4-シアノフェニル)-  
 5-ベンチルピリミジン  
 PYP-7N.F : 2-(3-フルオロ-4-シアノフェニル)-  
 5-ヘブチルピリミジン  
 PCH-30CF<sub>2</sub> : trans-1-p-ジフルオロメトキシフェニ  
 ル-4-プロピルシクロヘキサン  
 PCH-50CF<sub>2</sub> : trans-1-p-ジフルオロメトキシフェニ  
 ル-4-ベンチルシクロヘキサン  
 PCH-3-OCF<sub>2</sub> : trans-1-p-ジフルオロメトキシフェニ  
 ル-4-プロピルシクロヘキサン  
 BCH-5.F<sub>2</sub> : 4-(trans-4-ベンチルシクロヘキシ  
 ル)-2'-フルオロ-4'-エチルピフェニル  
 K6 : 4-エチル-4'-シアノピフェニル  
 K9 : 4-プロピル-4'-シアノピフェニル  
 PTP-35 : 4-プロピル-4'-ベンチルトラン  
 ME2N.F : 3-フルオロ-4-シアノフェニル 4-エ  
 チルベンゾエート  
 ME3N.F : 3-フルオロ-4-シアノフェニル 4-プロ  
 ピルベンゾエート  
 ME5N.F : 3-フルオロ-4-シアノフェニル 4-ベン  
 チルベンゾエート

PCH-2 : p-trans-4-エチルシクロヘキシルベン  
 ゾニトリル  
 PCH-7 : p-trans-4-ヘブチルシクロヘキシルベン  
 ゾニトリル  
 PCH-32 : trans-1-p-エチルフェニル-4-プロピ  
 ルシクロヘキサン  
 CFET-3F : 1-[4-(trans-4-プロピルシクロヘキシ  
 ル)-2-フルオロ-4'-イルピフェニル]-2-(4-フルオロフ  
 エニル)エタン  
 CFET-5F : 1-[4-(trans-4-ベンチルシクロヘキシ  
 ル)-2-フルオロ-4'-イルピフェニル]-2-(4-フルオロフ  
 エニル)エタン  
 FET-3F : 1-(2-フルオロ-4-プロピル-4'-イル  
 ピフェニル)-2-(4-フルオロフェニル)エタン  
 FET-5F : 1-(2-フルオロ-4-ベンチル-4'-イル  
 ピフェニル)-2-(4-フルオロフェニル)エタン  
 CPTP-30CF<sub>3</sub> : 4-(trans-4-プロピルシクロヘキシ  
 ル)-4'-トリフルオロメトキシエタン  
 CPTP-50CF<sub>3</sub> : 4-(trans-4-ベンチルシクロヘキシ  
 ル)-4'-トリフルオロメトキシエタン  
 PTP-20F : 4-エトキシ-4'-フルオロトラン  
 PYP3F : 2-(4-フルオロフェニル)-5-プロピル  
 ピリミジン  
 PTP35 : 4-プロピル-4'-ベンチルトラン  
 PTP45 : 4-ブチル-4'-ベンチルトラン  
 BCH-52F : 4-(trans-4-ベンチルシクロヘキシ  
 ル)-2-フルオロ-4'-エチルピフェニル  
 CP-302FF : 2,3-ジフルオロ-4-エトキシフェニル  
 trans-4-(trans-4-プロピルシクロヘキシル)シクロヘ  
 キサンカルボキシレート  
 PCH-301 : trans-1-p-メトキシフェニル-4-プロ  
 ピルシクロヘキサン  
 PCH-401 : trans-1-p-メトキシフェニル-4-ブチ  
 ルシクロヘキサン  
 D-302 : 4-エトキシフェニル trans-4-プロピ  
 ルシクロヘキシルカルボキシレート  
 D-402 : 4-エトキシフェニル trans-4-ブチル  
 シクロヘキシルカルボキシレート  
 BCH-3F.F : 4-(trans-4-プロピルシクロヘキシ  
 ル)-3',4'-ジフルオロピフェニル  
 BCH-5F.F : 4-(trans-4-ベンチルシクロヘキシ  
 ル)-3',4'-ジフルオロピフェニル  
 EHP-3F.F : 3,4-ジフルオロフェニル 4-[2-(trans  
 -4-プロピルシクロヘキシル)エチル]ベンゾエート  
 EHP-5F.F : 3,4-ジフルオロフェニル 4-[2-(trans  
 -4-ベンチルシクロヘキシル)エチル]ベンゾエート

## フロントページの続き

(72)発明者 ゲオルグ ヴエーバー  
ドイツ連邦共和国 デー-6100 ダルムシ  
ユタットフランクフルター シュトラーセ  
250

(72)発明者 ヘルベルト ブラハ  
ドイツ連邦共和国 デー-6100 ダルムシ  
ユタットフランクフルター シュトラーセ  
250

(72)発明者 フオルケル ライフエンラト  
ドイツ連邦共和国 デー-6100 ダルムシ  
ユタットフランクフルター シュトラーセ  
250

(72)発明者 吉武 広喜  
ドイツ連邦共和国 デー-6100 ダルムシ  
ユタットフランクフルター シュトラーセ  
250

(72)発明者 沼田 宏  
ドイツ連邦共和国 デー-6100 ダルムシ  
ユタットフランクフルター シュトラーセ  
250